

関西社会福祉学会ニュースレター

2010年度2号

2010年度 関西社会福祉学会年次大会 開催校ご挨拶—開催趣旨の説明も兼ねて—

来る2011年3月12日(土)に、「2010年度関西社会福祉学会年次大会」を佛教大学で開催する運びとなりました。開催校を代表して一言ご挨拶申し上げます。

この度の年次大会は、社団法人日本社会福祉士養成校協会近畿ブロック・社団法人日本社会福祉教育学校連盟近畿ブロック支部主催の「第6回近畿ブロック社会福祉教育セミナー」との共催で行うこととお認めいただきました。力を一つにして、社会福祉研究・教育のこれからの新たな方向性を切り拓いていければと考えています。年度末の大変お忙しい時期の開催ではありますが、会員の皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

さて、今年度の大会テーマは、「貧困根絶へ向けての社会福祉の挑戦——政策・実践・研究の課題を問う」です。現代日本の貧困の特徴は、新自由主義的な「構造改革」の進行過程において、絶対的貧困が広汎化するとともに、「官製ワーキングプア」といわれるように、貧困が労働政策・福祉政策の空洞化と密接にかかわって大量に創出されている点にあります。こうしたもつとで、人と人とのつながりやその人のつながる力までが弱められ、このことが貧困をさらに深刻化させています。

しかし一方で、途切れてしまったつながりやネットワークを再び育み、孤立を回避しようという取り組みも生まれています。その一つは、「反貧困」運動の高揚です。労働・福祉の「構造改革」路線の是非を問う声を受けて、ホームレスや子ども・高齢者・障がい者、ひとり親世帯などの貧困の根絶を掲げる運動が、かつてないほどの広がりを見せています。

今大会では、子どもの貧困の根絶のために活動されている元児童相談所のソーシャルワーカーで「なくそう!子どもの貧困全国ネットワーク」の代表である山野良一氏に基調講演をお願いしています。また、シンポジウムでは、生田武志さん(「野宿者ネットワーク」)、吉永純さん(花園大学)、山辺朗子さん(龍谷大学)をお招きして、鈴木勉さん(佛教大学)のコーディネートによって、貧困の実相を明らかにし、人びとの“Well-being”を全面的に保障する制度・サービスの体系と社会とのつながりを再構築するための方途を、

政策・実践・研究の関連から検討していきます。

なお、基調講演とシンポジウムは、広く市民や福祉現場で働く人たちにも呼びかけを行い、多くの方々にご参加いただければと考えております。企画・運営に際しまして、何かと不行き届きの点もあるかと存じますが、何卒、年次大会の成功に向けてお力添えを賜りますようお願い致しましてご挨拶にかえさせていただきます。

佛教大学社会福祉学部
学部長 植田 章

2010年度 関西社会福祉学会年次大会・ 日本社会福祉学会関西地域ブロック総会案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催します。会員の皆様には、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。今年度は(社団)日本社会福祉士養成校協会近畿ブロック・(社団)日本社会福祉教育学校連盟近畿ブロック支部「第6回近畿ブロック社会福祉教育セミナー」と共催いたします。

日 時：2011年3月12日(土) 10:00~17:45

(受付9:30~)

場 所：佛教大学

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96

Tel (075)491-2141 (代表)

会 場：

(午前) 佛教大学 紫野キャンパス 7号館

(午後) 佛教大学 紫野キャンパス 成徳常照館5階
常照ホール

(現在本学では、キャンパスリニューアルに伴い工事が行われています。手狭な上にご迷惑をおかけいたしますがよろしく願いいたします。)

大会テーマ:「貧困根絶へ向けての社会福祉の挑戦——
政策・実践・研究の課題を問う」

プログラム

<受付>9時30分— 7号館4階404教室

<自由研究発表>10時00分—12時00分

7号館4階405・406・407教室

(休憩12時00分—12時45分)

※昼食は各自ご持参いただくか学内食堂をご利用下さい。なお食事会場として、7号館4階402を開放

しておりますのでご利用ください。

<総会>12時45分—13時45分
成徳常照館5階 常照ホール

<基調講演>14時00分—15時30分
テーマ：「子どもの貧困と社会福祉実践・政策・研究の
課題」
講師：山野良一（「なくそう！子どもの貧困全国ネット
ワーク」共同代表・千葉明德短期大学）

（休憩15時30分—15時45分）

<シンポジウム>15時45分—17時45分
成徳常照館5階 常照ホール
テーマ：「貧困根絶へ向けての社会福祉の挑戦—政策・
実践・研究の課題を問う」
シンポジスト：吉永 純（花園大学）
生田 武志（野宿者ネットワーク）
山辺 朗子（龍谷大学）
コーディネーター：鈴木 勉（佛教大学）
コメンテーター：山野良一

<情報交流会> 18時00分—19時30分
7号館1階101・102教室
参加費：3,500円
（当日受付にてお支払い下さい）

大会参加申し込み・問い合わせ先：
佛教大学社会福祉学部 所 めぐみ
ファックス：075-493-9037（社会福祉学部資料室）
電話：075-491-2141（大学代表）
メール：tokoro@bukkyo-u.ac.jp

※関西社会福祉学会参加および情報交流会の参加申し
込みにつきましては、同封の申込書をファックスに
て申し込んでください。電話でのお問い合わせは極
力ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

※会場の準備の都合上、2月21日（月）までにお申し
込み下さい。

自由研究発表の募集

1. 申し込みの締め切りについて
発表を希望する方は、メールにて、2011年2月4日
（金）までに、「関西社会福祉学会自由研究発表申し込
み」と表題をつけ、発表テーマ（主題）、氏名、所属、
連絡先（メールアドレス及び電話番号）、必要な機器（パ
ソコンなど）を必ずお書きのうえ、下記の宛先までメ
ールまたはファックスにて申し込んでください。（なお、
お申し込み1週間以内にメール等でご連絡いたします。

連絡のない場合はお問い合わせください。）
※パソコンはWindows のみの対応となります。なお、
パワーポイントは2007までのバージョンで作成してく
ださい。

2. 自由研究発表申し込みの宛先
佛教大学 社会福祉学部 所めぐみ研究室
E-mail：tokoro@bukkyo-u.ac.jp
ファックス：075-493-9037（社会福祉学部資料室）

3. 自由研究発表要旨と資料について
自由研究発表要旨を次の要領に従い、2011年2月
21日（月）までに下記の宛先まで、メールもしくは
郵送にて送付してください。

・メールの場合（件名に「自由研究発表要旨」と記
載してください）

E-mail：tokoro@bukkyo-u.ac.jp（所研究室）

・郵送の場合（封筒に「自由研究発表要旨」と記載
してください）

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
佛教大学 社会福祉学部 所めぐみ研究室宛

<自由研究発表要旨の様式>

(1) 用紙サイズ・枚数：1発表につきA4版2ページま
で 横書き

(2) 余白： 上下左右25mm（目安）

(3) フォント

・主題—12ポイントゴシック
・副題—10.5ポイントゴシック
・所属—9ポイント明朝 氏名—10ポイント明朝
・会員番号—9ポイント明朝
・キーワード—9ポイント明朝 ※以上を用紙の上
側に罫線で囲んで記載してください。

見出し—10ポイントゴシック

本文—9ポイント明朝 1行48～50字程度

(4) 自由研究発表要旨と資料について

提出いただいた自由研究発表要旨は、当日の大会・
総会資料と一緒に綴じ込み配布いたします。

発表場所と時間は後日お知らせいたします。なお、
当日配布資料については、各自印刷の上、30部を持参
してください。

（佛教大学社会福祉学部 所めぐみ）

第21回若手研究者・院生情報交換会案内

テーマ：「現代の貧困を考える—大阪・釜ヶ崎からの発
信—」

日時：2011年2月20日(日) 14:00～17:00
場所：龍谷大学 大阪梅田キャンパス 研修室
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウ
エストオフィスタワー14階
http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_osaka.html

※JR大阪駅 桜橋出口から徒歩4分

※大阪市営地下鉄 四つ橋線 西梅田駅 3番出口すぐ
地下通路で直結

コーディネーター：大友信勝氏（龍谷大学社会学部臨
床福祉学科教授）

シンポジスト：海老一郎氏（財団法人西成労働福祉セ
ンター職員）

ありむら潜氏（漫画家、釜ヶ崎のまち
再生フォーラム事務局長）

加美嘉史氏（佛教大学社会福祉学部社
会福祉学科准教授）

趣旨：貧困問題は社会福祉が対象とする多くの生活問
題の根底に横たわっており、その解決は社会福祉に与
えられた重要な課題である。社会福祉研究に携わる者
にとって、それぞれの探究するテーマを考える前提と
して、今一度「現代の貧困」を日本有数の日雇い労働
者の街・釜ヶ崎における実践と研究のなかから問い直
すことは、今後の研究への重要な示唆となる。今回
の交換会では、釜ヶ崎をフィールドとする三人のシン
ポジストからの労働者支援の現状と課題、地域への包
摂、新たな街づくりへの取り組みなどの提起をととし
て、今後の社会福祉のあり方について考えていきたい。

また、当日は一般にもシンポジウムを開放し、貧困
問題や釜ヶ崎への理解を広く求めていきたいと考えて
いる。

参加費：無料

申込み・問合せ：龍谷大学大学院博士後期課程 門(か
ど) (c08d002@mail.ryukoku.ac.jp)

※ シンポジウム参加希望の方は、資料準備の都合上
2011年2月15日までに所属、氏名をご連絡ください。
また、シンポジウム終了後、会場を移して懇親会を予
定しています。こちらへの参加を希望の方は併せてご
連絡ください。

(阪口春彦)

第19回若手研究者・院生情報交換会報告

岡本民夫先生（同志社大学名誉教授・関西社会福
祉学会会長）のご講演「調査研究活動の回顧と展望
～帰納法的研究を中心に～」を、2010年9月25日に
同志社大学寒梅館1階会議室にてお聞きしました。
当日は、関西圏の教員・大学院生をはじめとして、

遠方からお越しの先生方もいらっしゃいました。

ご講演では、先生ご自身のこれまでの経歴をふり
かえりながら、その時々の業務と研究課題について、
当時のお写真を見せていただきながら、お話を伺い
ました。病院勤務時に医師からソーシャルワークの
専門性について問われたことがその後の研究の契
機となったこと、国内外の文献を多数収集しその一
部を使って『ケースワーク研究』をまとめたこと。
そして、今日では記録の電子情報化や地域資源情報
のネットワーク化などの課題に取り組んでいると
ともに、社会福祉・ソーシャルワーク独自の研究法
を構築していくことが大切であるといった内容
をお話いただきました。

また、講演終了後は多くの質問がありました。研
究テーマの設定では自分がしたいこととできるこ
とを見極めることが重要であり指導教員とよく相
談すること、査読論文への投稿は不採用を恐れず積
極的に行うこと等、一つひとつの質問に対して丁寧
に回答をしてくださいました。

先生のお話を通して、研究テーマはその時々の業
務や研究課題に取り組む中で充実したものになる
こと、そして今日の取り組みが明日の成果へとつな
がっていくということを改めて感じるすることができ
ました。

(関西大学人間健康学部 窄山太)

第20回若手研究者・院生情報交換会報告

2010年10月31日、龍谷大学大阪梅田キャンパスに
おいて「第20回 若手研究者・院生情報交換会」が行
われました。今回のテーマは「社会福祉における『地
域』の位置づけをめぐって」でした。桃山学院大学の
松端克文先生の講義と同志社大学の小山隆先生による
問題提起、そしてお二人の議論という展開が、とても
ひきつけられるものでした。

松端先生からは、地域の捉え方と地域へのはたらき
かけ方の多様性をさまざまな視点からお話いただき
ました。地域福祉における「支援」の概念整理や、地
域を基盤にした福祉活動の意義と課題が印象に残り
ました。小山先生からは、ソーシャルワーク分野から見
た地域福祉への違和感や、規定的条件・前提的条件と
しての地域への疑問、地域とコミュニティを同一の構
造と見なすことへの疑問といった視点からの問題提起
をいただきました。

小山先生の問題提起に対する松端先生の回答の中
では、「共同性」を再構築していくための統合シンボル
や合意形成をめぐる議論に興味をひかれました。

また、コーディネーターの龍谷大学山辺朗子先生による、ソーシャルワークからの地域の見方についてのお話もありました。コミュニティワークはソーシャルワークではないとする見方も根強いですが、ジェネラリスト・ソーシャルワークが基盤とするエコロジカル・パースペクティブから、人々の生活の「場」としての地域・コミュニティとその機能についてお話いただきました。

これまで私は、地域を、どちらかというと地理的な範囲と其中での生活として捉えることが多かったように思います。しかし、今回学んだことから、地域という圏域が重層的であり、個別支援から地域支援まで、支援の概念にも広がりがあることを、実践に触れながら確認していきたいと思いました。また、地域を理念としての「場」「関係」と捉えるか、実体としての「場」「関係」と捉えるかといった根源的なテーマについて、勉強不足で答を見つけるまでには到底至りませんが、考えるきっかけを与えていただいたと感じています。一口に地域といっても、これだけたくさん視点があることに気づくことができ、有意義な時間となりました。

(大阪府立大学 人間社会学研究科社会福祉学専攻 博士前期課程 三村 知之)

B会員会費納入のお願い

日本社会福祉学会の関西地域ブロックの方は自動的に関西社会福祉学会の会員（A会員）となり、会費は日本社会福祉学会からの還元金を当てることとなります。

一方、日本社会福祉学会の関西地域ブロック員でない方、日本社会福祉学会の会員ではないが関西社会福祉学会の会員である方（B会員）の年会費は2,000円です。従って、B会員の方で、本年度（2010年度）会費2,000円を未納の方は、納入していただくようお願いいたします。会費納入が3年間ない方については、B会員を退会したものとして扱わせていただきます。

なお、B会員の方で、日本社会福祉学会関西地域ブロックの会員になられた方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

B会員会費納入方法の変更について

B会員の方には別途、会費納入の依頼文書をお送りしております。指定の銀行口座に年会費（2,000円）を納入していただきますようお願いいたします。その際には、ご利用の個人名義口座から学会名義口座への振り込みをしていただくと、振込者の氏名が学会通帳に記帳され、こちらの確認作業が容易になり助かります。なお、振込手数料につきましては、各自でご負担いただきますようお願い申し上げます。

金融機関 三菱東京UFJ銀行

支店 大阪営業部

口座名義 関西社会福祉学会

口座番号 4530873

(空閑浩人)

機関紙担当から

2010年度第二号を発行することが出来ました。

二月の情報交換会、三月の大会関連の情報があります。奮ってご参加ください。また、大会時の「自由研究発表」への参加もお待ちしています。

(小山 隆)

関西社会福祉学会ニュースレター

発行日 2011年1月××日

発行者 会長 岡本民夫

関西社会福祉学会

事務局 龍谷大学

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学 6号館現場実習指導室気付

電話：077-544-7223

FAX：077-544-7229